

## 平成 22 年度第 3 回国際交流事業推進連絡会（会議録要旨）

1. 開催日時 平成 23 年 3 月 25 日（金） 午後 2 時～3 時 30 分
2. 場所 東庁舎 501 会議室
3. 出席委員 8 名
4. 欠席委員 9 名
5. 事務局 2 名
6. 会議録（要旨）

### (1) 前回の報告

資料『平成 22 年度第 2 回練馬区国際交流事業推進連絡会』開催結果』による事務局説明  
前回の連絡会は昨年 11 月 26 日に開催し、11 名の委員に出席していただきました。内容  
といたしましては第 1 回連絡会の結果報告とその後の近況報告、そして意見交換では協働  
事業提案制度、旧光が丘第五小学校跡施設の利用についてご意見を頂戴いたしました。協  
働事業提案制度については、国際交流事業について区と協働で事業を進めていくというこ  
とで手を挙げていただいた団体がありまして、来年度から正式に実施していくことになり  
ました。これは後ほど、平成 23 年度の事業説明のところで詳しく説明させていただきます。  
もう一つは、平成 24 年度から旧光が丘第五小学校が多文化共生施設として利用できるとい  
うことで、その計画づくりについてご意見をいただきました。その後、区の方で意見をま  
とめさせていただきます。また一般の区民の方からもパブリックコメントということで  
意見をいただきました。その後、文化芸術振興・多文化共生支援施設整備計画ができあが  
りまして、正式に旧光が丘第五小学校跡施設を多文化共生施設として利用することに決定  
いたしました。こちら後ほど意見交換の前に説明させていただきます。

### (2) 近況報告 事務局説明

#### ①国際交流のつどいについて

2 月 11 日の祝日に開催いたしました。午後 1 時半から 4 時半までの時間で、前半は各国  
の文化紹介などの舞台発表、後半はパーティー形式のフリータイムという内容で実施しま  
した。今回は 200 人が定員の会場でしたが、176 名という大勢の方に参加していただきま  
した。

#### ②東北関東大震災の影響による 22 年度事業の中止等について

震災発生翌日の 3 月 12 日土曜日の午前中には、こども日本語教室を予定していました。  
この日については電車等は一部動いていたのですが、報道からも東北地方での被害が大変  
甚大であったことと、まだまだ大きな余震が発生する可能性が高いということで中止とさ  
せていただきました。またその日の午後には海外友好都市であるイプスウィッチ市紹介講  
座を予定していました。これは毎年練馬区から中学生を派遣する時に、現地で通訳と案内  
をしてくださる方が、日本にいらっしゃるということで、この機会にイプスウィッチにつ  
いて紹介してくださいということをお願いしていたのですが、こちら中止といたしまし  
た。3 月 13 日には、光が丘旧五小の関係で文化芸術振興・多文化共生支援施設整備計画の

説明会を光が丘地区で予定していたのですが、これも中止といたしました。その後、週明け 14 日には当面の事業は中止するという区全体の方針がありましたので、国際交流系の 3 月中の事業についてもすべて中止としております。具体的には、初級日本語講座、外国語講座、日本語教室ボランティア養成講座の打ち合わせが中止となっています。4 月以降の事業については、予定どおり実施したいと考えていますが、こちらについても意見交換でご意見をいただければと思います。

#### ③外国人に東北関東大震災関連の情報を伝えるホームページの開設について

震災関連情報について外国人の方向けに急遽ホームページを立ち上げました。区の体制もそれほど大きくないので、区として独自で情報発信できるものはわずかだったのですが、様々な公的機関や報道機関で外国人の向けに情報発信しているホームページにリンクをする形で作成いたしました。言語としては、英語、中国語、ハングル、日本語で作成しています。内容としては、今回の震災に対する区の基本的な考え方、区の外国語相談の案内、東京都の震災についての専用ダイヤルの案内、練馬区内の計画停電の情報、震災情報のリンク集となっています。ただ、区でも窓口での相談を受け付けているのですが、当初はかなりいろいろな相談が寄せられるだろうと思っていたのですが、予想よりも相談は少なめという感じです。そんななかで印象に残ったものとしては、欧米やアジアの国というのは、自国の大使館などから様々な情報が入って、友達などは皆自分の国に帰っているのだけれど、小さな自分の国には日本に大使館も無く、何の情報もない。本当に東京は大丈夫なのだろうかという相談がありました。

#### ④平成 23 年度の事業説明

資料の 1.国際交流のつどいは、外国人区民と日本人区民が参加する年に一度の大きなお祭りです。

つづいて 2.国際交流サロンは月に一回、日本人の方と外国人の方に区役所の会議室に集まっただいて、お茶を飲みながら自由にお話をさせていただくものです。

つづいて 3.在住外国人の方への外国語相談は、英語、中国語、韓国・朝鮮語で来年度も実施していきたいと思います。

また、4・5.初級日本語教室、6.こども日本語教室についても来年度も続けていきたいと思ひます。

つづいて 7.外国人のための防災説明会と 8.資源分別説明会ですが、これは区内のボランティア日本語教室に直接お伺いして、今回の震災のこともあるので防災の話と、またごみの分別も外国からいらした方にとっては複雑であるということで、その説明会を実施していきます。

つづいて 9.通訳ボランティアの派遣ということで区の窓口と区民との間の通訳を、登録している通訳ボランティアの方をお願いいたします。

また、10.ホームステイ、ホームビジットの希望者とホストファミリーのボランティアとのマッチングも続けていきます。

つづいて 11.外国語情報誌の発行です。こちらは英語・中国語に今年度からハングルが加わりました。来年度についても実施していきます。

つづいて 12.区民親善訪問団ですが、これは 21 年度、22 年度と海淀区に行く予定が続けて中止となっています。海淀区とは平成 24 年には 20 周年を迎えるということもありますので、来年度は実施したいと考えています。

つづいて 13.海外友好都市紹介講座ですが、北京市海淀区とオーストラリア・イプスウィッチ市について広く区民に紹介し、さまざまな国際理解を深めてもらうということで実施していきます。

14.外国語講座は、英語・中国語・韓国、朝鮮語・スペイン語で実施したいと考えております。

つづいて 15.使用済みプリペイドカードの回収ですが、来年度も国際交流係が区の窓口となって、区民の皆様にお持ちいただくプリペイドカードをジョイセフに寄付したいと思えます。

続いて 16.日本語講師ボランティアの仲介ですが、区内に 17 ヶ所ありますボランティア日本語教室で講師が不足した場合に、区に登録しているボランティア講師を紹介させていただきます。ただ、なかなかマッチングがうまくいかなくて、実際に教室に入って週 1 回の活動をするのが難しいという方が多い状況です。そこで昨年度から 17.ボランティア日本語教室ボランティア養成講座を実施しておりまして、今年度も十数名の方にボランティア教室に新しく入っていただくことになりました。来年度も続けていきたいと思えます。

続いて 18.海外友好都市紹介用展示ケースの購入ですが、これは区役所の玄関に入ってすぐのところに海外友好都市を紹介する展示ケースを作って、友好都市からいただいた記念品だとか、交流の経緯などを表示するというのを計画しております。

19. (仮称) 国際交流・多文化共生基本方針の策定ですが、来年度は国際交流や多文化共生について区としての基本的な考え方を文書にまとめたいと考えています。これについて来年度の第 1 回、2 回の連絡会の中でご意見を頂戴して、その他区民の方からもパブリックコメントということでご意見をいただいてまとめていきたいと考えています。委員の皆様のご協力をお願いいたします。

20.協働事業提案制度ですが、これは地域の活性化などを担当している地域振興課が、様々な事業で区と協働して事業を進める団体を募集しました。国際交流の事業については NEXT! 練馬国際振興協会が手を挙げてくださり、地域振興課で設置した審査会をパスしまして来年度からは一緒に事業を実施していくことになりました。本来は本日、区とこの団体さんとの協定書を皆さんにお示しして、どんな事業をやるかを説明する予定だったのですが、今回の地震の影響で延期となっています。来週には打ち合わせをして、できるだけ事業を実施する方向で話を進めていきたいと思えます。審査の時点での提案では、交流関係の事業ではスポーツでの交流、クリスマスの時期の子供を中心とした交流、外国人の方に日本文化を紹介する交流、外国の文化を日本人に紹介する交流、日本人の外国人への接し方だとか国際貢献、地域での国際交流のあり方などの講演という 5 つの事業を提案して

いただいています。次回の連絡会ではどのような事業を実施するかを含めてお話が出来るかと思います。23年度に予定している事業としては以上です。

最後に意見交換に入っていただく前に、文化芸術・多文化共生支援施設について、お配りした計画の中の5ページをご覧ください。こちらの図面は旧光五小の3階ですが、このなかで国際交流が利用できるのが、真ん中から右側の方、理科教室、理科準備室、児童会室、学年室、普通教室の部分となります。イメージとしては理科教室にはガス、水道の配管が通っていますので、こちらは調理室の機能をもったものにしたいと考えています。前回の連絡会でも、この教室の全部を調理台でうめてしまうと使い勝手がよくないといというご意見をいただいておりますので、調理台は部屋の片方に寄せて、調理も出来るし、空いているスペースでは交流もできるようにしたいと考えています。また児童会室については四分の一くらいは事務室として利用して、残りの部分には様々な国際交流や外国の方に役立つ情報を掲示するコーナーや、机や椅子を配置して、小規模な会議や数人であれば外国人の方がその場で日本語の勉強をすることができるようなスペースを考えています。学年室、普通教室は日本語学習や講座などで使っていただける部屋ですが、パーティションで仕切ること、大きく一つの部屋としても使うことができるよう設計関係の部署と調整をしているところです。また前回の連絡会でもコンピューターも使えるようにというお話がありましたが、情報コーナーの場所ではインターネットの利用ができるように調整しています。まだまだ細かな設計はこれからですので、こちらについてのご意見も頂戴できればと思います。事務局からの説明は以上です。

### (3) 意見交換

<座長>

今、事務局から3月中の事業の中止のお話がありました。また23年度の事業についてご説明をいただきました。これについて新しい事業というのは18、19、20でしょうか。廃止したものはありませんね。そういったことを含めましてご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。

では、私の方から。この協働事業の団体の名前は初めて聞いたのですが、どういった団体で区との関係はどのようになっているのか全然分からないのですが。たとえばどのような事業をやっていて、役員構成はどうなっているのかなど教えていただけますか。

<国際交流係長>

まず、事務局は中村北にありまして、まだNPOの法人格は持っていない任意団体ということで活動されています。昨年4月に発足しています。次回協定書をお示しする時には、どういった団体かということも含めて資料をお持ちするよういたします。

<座長>

と申しますのも、いろいろな国際交流関係の団体がひょっとしたらあると思うんです。た

たとえば私が個人で国際交流団体がありますと名乗ることもできるわけですから、その辺もよく調べていただいてからじゃないといけないと思います。そういう意味で、どういう実績で、役員構成がどうでというのもきちんと調べていただいたうえで、私どもとしては準公の機関として意見を申し上げるというものではないでしょうか。4月に出来た団体で、すぐに協働でやっていこうとはならないのではと思うのですがいかがでしょうか。もし、協働するのであれば実績、役員構成、予算など資料をしっかりと揃えていただいて、検討しなくてはならないのではというのが私の意見です。

#### <国際交流係長>

そうした部分につきましては、この協働事業提案制度そのものを所管している地域振興課の方で審査しました。地域振興課で有識者と公募区民、地域振興課を所管している産業地域振興部の部長と、区民生活事業本部長からなる審査会をつくって審査をして、国際交流関係の事業については当団体に決定いたしました。審査については文化国際課としては関与せず、地域の活性化をはかっている地域振興課でやっています。そちらにはより細かな資料がありますので、次回のご提示するようにいたします。今の段階でこちらにあがってきている資料としては、代表者のお名前、中村北に事務所があるということ、役員理事についてはお名前はいただいているのですが人数は5名、現在活動しているスタッフは12名というところですが、また、以前からこの団体については国際交流係でも把握をしていて、事業の紹介などで時々事務所にも来ていただいて、係でもチラシを預かって窓口のお客様にイベントの紹介をしています。そういうことでまだ設立1年の団体ですが、非公式には協力しています。若いスタッフも多いようですし、夏には区内のブルーベリー畑に行き行ってブルーベリー狩りのイベントをされたり、楽しい企画を独自にやってくさっています。

#### <座長>

それがいいとか悪いとかではなくて、そういう話があるとなれば出していただいて、協働してやっていくのであれば私達が理解することが必要と感じたのと、もしそれ以外にももう10年以上前から活動している団体もあるかもしれないので、そういうところも検討していただければと思います。

#### <C委員>

たぶん今の説明だと何段階かが飛んでいるかなというのが正直なところですが、そもそも私どもの国際交流推進連絡会というのは、この新しい協働事業提案制度というもののどの程度意見を申し上げられるのかなというところですが、これはおそらく国が出している新しい公共のなかの一環で地域の活性化だったり雇用の促進だったりというところに連携しているのでしょうか。そうすればこれは私達の活動がどれくらいコミットできるのかということなのに、いきなり協定書をお示しして皆さんの意見をと言われても、私達はそれぞれバックグラウンドが違う中で意見の言い放しになってしまうのではないのでしょうか。ですからせっかく皆さんいろいろなキャリアを持ってここに集まっている中で、座長がお持ち

の問題意識もすごく大きいと思います。こちらの団体も、おそらくプロポーザルを出して、それを皆さんで審査されてここにお願ひしようとなったというのは分かるのですが、そこに私達が意見を言ったところで、そこでどういう形の交流があるのか、何ができるのかというところが全然見えていないじゃないですか。ですからそもそものところで地域振興課なりから説明をいただいた上で、実はこのような契約を結ぼうと思っていますという何段階かがあれば別ですけど、いきなり協定書を見せられても我々は契約のプロではないですし、そこにどんな意見が言えるのかということを感じました。また、来年度の事業計画を拝見していて、これは優先順位はつけているのですか。正直なところ今年度の連絡会に出てきて思うのは、一番大きいのは施設の行方というか、統廃合した小学校をいかに活用していくか、その国際交流のところをどうするのかということだという印象を受けました。そうすると 20 の事業があるなかの 19 番目とか、また大きな流れの中では震災をうけてというところで 7 番とか 8 番が関心事項としては大きくなってくるなということであったり、日本語教室のボランティアの先生方もここにはたくさんおられるので、その方々の震災後の状況というのをもっと集約した上で次年度につなげていかないと、前年度の実績からどのように発展させるのかがこのエクセルの表からは見えてこないんじゃないかなと思います。20 番の地域の活性化がすごく大事というのは分かるんですけども、もう少し文化国際課としてどういうことが問題意識としてあって、それをどうやって事業として発展させていくのか、選択と集中しようとしているのかを教えてください。

<国際交流係長>

まず、最初に協働事業につきまして実際にどんなところに事業をやっていたかということに関して、確かに今回の流れのなかでは、連絡会で細かく議論をしていただく時間はなかったのは申し訳ございませんでした。また今後進めていくうえではこの連絡会でチェックしていただいて次年度に向けての意見をあげていただいて、それを反映させていきたいと思っております。前回、地域振興課の方でこうした協働事業提案制度というものがあり、それに対してどこか手を挙げてくれる団体があれば文化国際課としても、可能であれば組みたいと考えているというお話はさせていただいておりました。ただ、どんな提案がくるかというのが分からない中で、なかなか内容までのご意見をいただくという時間が少なかったと思います。ただ、こうした状況の中で逆に今、協定を結ぶという作業が遅れていますが、この団体さんには大変幅広い提案をしていただいていますので、もうちょっとこういうテーマで絞った方がいい等といった意見があれば頂戴できればと思います。絞った方がいいというのは言い方が申し訳ないのですが、実は現在、外国人の方で日本を離れてしまっている方が多いというのと、外国人登録係からの情報だと入ってくる方も大変少ないということで、なかなか活発な交流というのが年度明けすぐは難しいのかな、ちょっと絞った形で事業を進めた方がいいのかなということもあります。そうしたことは事業に反映できるのかなと思います。もう一つ、事業の優先順位については、普段の年ですと優先順位というよりはここでお示した事業についてはすべてやっていくというようにし

ています。一方で東北関東大震災をふまえた今年度の状況を考えると、すべて出来ない可能性も出てきたのかなと思います。そういう意味でも優先順位は大事なかなと思います。日常的にやる事業としては増本委員にご指摘いただいた防災説明会も重要だと思いますし、またこの連絡会で優先して検討していただく事項というのは、ご指摘いただいたように 19 の基本方針で区の基本的な考え方を文書にしていくこと、それが出来てくると優先してやっていくべき事業もより見えやすくなっていくのかなと思います。また 20 の協働事業提案制度についても来年度から再来年度に向けてのご意見もいただきたいと考えています。

<D委員>

今おっしゃったように交流係として第五小学校の跡地をどうするかということについて私達も何回も話をしていますし、意見も申し上げています。それをするにあたってアイデアをとすることでこの団体の方たちが来てというのはいいと思います。しかし、ただスポーツ大会とかむこうが企画するものを交流係がサポートするというのなら、座長がおっしゃったようにいろいろな団体が他にももっとあって、国際交流係がサポートしていかななくてはならないものもあるのではないかと思います。

<国際交流係長>

基本的にはそうなのかなと思います。ただ以前から交流関係の事業についてなかなか区として十分な事業展開ができていないということがありました。国際交流サロンにつきましても特にテーマを設けず、お茶を飲みながら交流していただいています。以前はテーマをもたせて外国人の方に日本文化を紹介したりしていたのですが、区でやるとどうしても硬いイメージになるというか、逆に外国人の方が集まらないということがありました。そんな中で若い発想で日本人にも外国人にも面白い企画をやってくれる団体と協働できればと思っていました。

<座長>

私どもが申し上げたいのは、スポーツでも国際的な活動をやっている団体がありますよね。また芸能関係でも国際的な活動をやっている団体がある。これらは皆同じ性格なんです。そうだとすればそういうところとの関係も考えていく必要があるのではないかということです。たとえばスポーツでは練馬でずっと太極拳をやってきた団体なんかもあります。そういうところもきちんと吸い上げたうえで協働をやっていったらいいのではないかと思います。

<D委員>

具体的にはどのようなことをするのですか。お金の出し入れはあるのですか。

<国際交流係長>

まず、私達の部署ではなくて地域振興課で 1 年間あるいは最長で 2 年間補助金を出します。そして協働をしてみて、その実績を評価させていただいた上でこれからも一緒に事業をしていきたいということであれば、今度は私達の部署で予算化をして同じことを続けるなり、新しいことをするなりして継続していきます。逆に課としては今後 1~2 年間でこの

団体を評価していくことになります。そうした意味ではこの連絡会にも情報提供をしていきます。今回こうした形になったことについては、国際交流を所管している部署ですといういろいろな団体があるということは承知しているのですが、すべての団体と一緒にするわけにもいかない中で、なかなか自分達の判断で組むところを決めるのは難しいというところもあります。そうしたなかで違う視点で違う部署が学識経験者と区民からなる審査会を通して選ぶ形となりました。だからこそ1年あるいは2年という期限もありますので、そのなかで本当に協働していけるのかということも確認していきたいと思います。

<A委員>

地域振興課というのはどういう活動が多いのですか。

<国際交流係長>

町会ですとか自治会ですとか地域での住民の活動が活発になることを目的とした部署です。あとは地区区民館の関係で、地域での皆さんの活動を支援するということをしています。

<B委員>

私達の連絡会とのつながりですが、今年いっぱい光が丘第五小の施設利用ということで皆さんいろいろ提案しましたが、この5ページの教室の割り振りとして、半分は国際交流、もう半分は文化振興が利用するということですが、この協働事業提案団体の事業提案というのはどちらに所属するのですか。

<国際交流係長>

今回の協働事業の提案団体については、この場所を使った事業ということではないので、今のところ直接関わってはきていません。

<B委員>

ではもっと広く区内の交流事業という考え方ですか。

<国際交流係長>

広く交流事業全般をこの団体にお願いするというよりは、1回ものの事業を多くて5回くらいやっていただくイメージです。

<B委員>

それをする場合は文化国際課の交流事業として行うということですか。また金銭的なバックアップは文化国際課ですか。

<国際交流係長>

金銭的には1年間は地域振興課ですが、催しをやることについては文化国際課の責任で、実際に催しを企画運営していただくのはこの団体さんということになります。

<D委員>

この来年度の事業計画にあることの他に、そういう皆さんが参加できるイベントがあるということですね。

<F委員>

国際交流係にはこの団体のチラシが置いてあります。事業としてはわりと国際交流係と



似たようなことをやっています。例えば区役所でサロンもやっています。地震で中止になってしまいましたが3月12日にも大泉学園で日本文化体験の企画も予定していました。テーマとしてもすごくおもしろいなおもいました。あと外国人の子供の進学のための講演会などもやっていて、最初はなかなか人が集まらなかったようですが、少しずつ増えているようです。

<G委員>

そういうことをする団体に区がバックアップするという事なんですね。

<国際交流係長>

バックアップというよりは対等な立場でやっというものです。

<B委員>

私達の連絡会での意見を述べていいのか、どのように関わっていくのかが見えませんでした。

<C委員>

それはすごく大きいと思います。そういうことをふまえて考えた場合、年度末なので来年度以降のこの連絡会のあり方とか文化国際課のビジョンというか、せっかくこうして大きな施設を所管することになるなかで、こうしたことを考えています、こうしたことならできるところをもう少しテーブルにのせていただくと私達も意見を言えると思います。先ほど相談が少なくなっているというお話がありましたが、子育てをしている私の友人などは、子供を本国へ帰してしまいました。彼らはその情報が正しいか正しくないかは別にして日本人よりもいろんな情報をもっています。生きるか死ぬかの生死に関わってきている中では、この震災を私達がどう受け止めて、どうしていくかというのも、国際交流のなかではすごく大きなテーマにならざるをえません。さきほどからの協働事業というのはイベントを年に5回なら5回やるという1事業にすぎないということをもう少しはっきり言っていたらうえで、もう少し大きな枠組みで話をさせていただいた方がよいのではないかと思います。きっと皆さんの方がお仕事だったりボランティアの活動を通して現場の実態を知ってらっしゃると思います。それを国際交流係なり行政の方に伝えていくというのが、我々連絡会としての役目かなと私は考えていたのでそういう話をしていったらいいと思います。

<G委員>

この事業のことではないのですが、地震について外国人に向けた情報を区でホームページに掲載しているということですが、どのようにすればこの外国語のページにたどりつけるのですか。

<国際交流係長>

区のトップページで2箇所からつながることになっています。トップページ右上の(English/中文/韓国語)のところから入ると、トップページの地震に関する緊急情報の中の(外国人の皆様へ English/中文/Korean)から入ることができます。

<座長>

それでは旧光が丘第五小学校の跡地利用について、これまでもいろいろ意見を申し上げてきましたが、話に出ていたのはエレベーターをつけられるのかということ、理科準備室は事務室として使ったらいいのではないかということ、理科教室は調理台を設置するだけでなく多目的に使えるようにした方がいいという意見が出たと思います。理科準備室はどうになりましたか。

<国際交流係長>

実は光が丘というのは清掃工場からお湯が供給されている地域で、この準備室にはそうしたものの配管が集中して集まっているようでして、普通の部屋としては見えそうにありません。そこで控え室とこうした施設を作るのに障害者の方も使っていただける多目的トイレをつくる計画となっています。

<座長>

ここに多目的トイレを作るとなんだか切れてしまうような気がします。

<国際交流係長>

実は多目的トイレを現状のトイレ側にとという話もしてみたのですが、構造上壊すことができない壁があり難しいということでした。また、エレベーターは設置できることになりました。

<座長>

場合によっては教育相談室のところに持っていくという手もありますね。我々としては面積をできるだけほしいという意見です。

<国際交流係長>

あと前回いただいたご意見では、メッセージを貼れるようなボードをたくさん作ってほしいということがありましたが、これはなんとかできそうです。またボランティア日本語教室さんとか他の国際交流団体さんが専用で使えるような棚がほしいということでしたが、これもできればというように考えています。年度明け早々に実施設計に入っていくように予定しています。

<座長>

変更可能なラフな計画を見せていただけるとはいつごろになりますか。できてから変更できませんと言われてはいけませんから、そうしたものを出示していただければ我々としても意見が言いやすいです。

<国際交流係長>

そういう意味では実際に工事にかかるのは来年度の後半になります。来年度の最初の段階でそういった図面もお見せできればと考えています。

<D委員>

人員の配置などはもう決まっているのですか。

<国際交流係長>

そちらもまだ決まっています。こちらの連絡会の中でもご意見をいただきたいと思えます。ただそれが区全体の判断のなかでどれだけ入れられるかというのは難しいところですが、ご意見をいただければと思えます。前回は事業の実施と全然関係のないところが管理をしてもなかなかうまくいかないというご意見もいただいております。

<C委員>

ここは女性センターのように運営事業者は、NPO法人とか社団法人といったところを対象にするのですか。

<国際交流係長>

そうしたところもまだ決まっています。形としては可能性があるのは、そうしたNPO法人などにプロポーザル方式でお願いするやり方、また区の直営で職員が入るやり方、あるいは地区区民館のように地域の方に集まっていただいて運営連絡会という形でやっていただくことなどが考えられます。

<C委員>

たとえば次回の連絡会の頃には決まっているのでしょうか。もしそうであれば知り合いの興味のある方がいれば区の方に問い合わせをしてもらってもいいのでしょうか。

<国際交流係長>

まだそうしたところまではいっていません。次回あたりでご意見をいただければと思えます。せっかくこれだけの施設があるわけですから、いろいろな団体に協力をしていただきながら国際交流の輪をひろげていくことが大事かなと思えます。そうしていく中でやはり区の職員がいた方がよいかとかNPO法人が入ったこんな成功例があるだとかいうことを、次回その次くらいまではまだ固まっていないと思えますので、ご意見をいただければと思えます。

<座長>

それでは予定の時間になりましたので終了したいと思います。皆様本日は大変ありがとうございました。

以上